

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 60

24年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)	
			町会・自治会専用掲示板設置等補助	77	基	2,460
			町会・自治会へのまちの絆向上事業助成	16	団体	2,798
			町会・自治会への区政協力委託	160	団体	40,732
			地域区民センター協議会への補助	7	団体	55,955
		その他(区民専用及び区屋外掲示板の維持管理 ほか)				10,818
	(2) 事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	<p>○町会・自治会が行う地域活性化事業を支援するため、町会・自治会掲示板設置等補助やまちの絆向上事業助成を行いました。また、町会・自治会への加入を促進するため、「杉並区80周年まつり」や「すぎなみ舞祭」などの機会を通じて周知活動を行いました。</p> <p>○地域区民センター協議会がふれあいや交流など地域コミュニティの形成を図る事業や地域課題解決のために地域活動団体と協働で実施する事業を支援するため、7つの協議会に対し補助金の交付を行いました。</p>				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>○町会・自治会専用掲示板設置等補助について、平成23年度に補助割合及び補助限度額の引上げを行いました。</p> <p>○まちの絆向上事業助成について、平成23年度から募集の回数を年1回から3回にしました。</p> <p>○町会・自治会への加入率は長期漸減傾向となっています。また、後継者難による役員の高齢化や固定化が課題となっています。</p> <p>○地域区民センター協議会は、平成21年度から地域団体のネットワーク化を推進するため協働事業を開始しました。また、協議会活動を強力に支援するため、平成22年4月に協議会事務局と地域課地域活動係の統合を行いました。</p>
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>○まちの絆向上事業助成については、今後も継続してほしいとの声が寄せられています。</p> <p>○町会・自治会の加入状況や後継者不足に対する危機感があり、区の支援を求める声があります。</p> <p>○区制協力委託について、ポスター掲示やチラシ回覧の依頼が増加傾向であるため、委託金の増額を求める意見や負担感を訴える声が寄せられています。</p> <p>○地域区民センター協議会が協働事業を実施するにあたり、事業内容や協働相手の選定が難しいという意見があります。</p>
	今後の予測	<p>○町会・自治会の活性化のため、町会・自治会専用掲示板設置等補助やまちの絆向上事業助成を中心とした、地域活動を支援する区の取り組みの継続・拡充が求められています。</p> <p>○町会加入率が減少傾向にあるだけでなく、町会・自治会活動の主要な担い手である役員の後継者難が一層深刻化していくことが見込まれます。</p> <p>○地域区民センター協議会が実施する協働事業について、行政のみでは対応困難な地域の課題(安全・安心、防災、環境、子育て支援、介護等)の解決のための取り組みとして拡充が期待されています。</p>
	評価と課題	<p>○町会・自治会の活性化のため、まちの絆向上事業助成や掲示板設置等補助に取り組んできましたが、より多くの町会・自治会にこの制度を利用していただくことが課題となっています。また、加入促進として、活動内容等を紹介するリーフレットの作成・配布に取り組んできましたが、漸減傾向の改善には至っていません。</p> <p>○地域区民センター協議会の協働事業について、地域活動団体との協働により課題の解決に取り組んできましたが、取組を一歩進め、様々な地域団体を結びネットワーク化を推進して課題解決を図ることが課題です。</p>

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ その他
		II 事業の方向性	● 手段・方法の見直し ○ 実施主体の見直し ○ 対象の見直し
	<p>○掲示板設置等補助やまちの絆向上事業助成については、年々利用している町会・自治会数が増加していますが、まだ未利用の会もあるため、引き続き周知活動の強化・充実に努めていきます。特に、まちの絆向上事業助成については、事例集の更新版の作成による周知とともに、役員の高齢化や後継者不足に悩む町会・自治会に、この助成制度を活用して幅広い世代の方々が参加していただける事業を実施していただくよう働きかけを行います。</p> <p>○町会・自治会への加入促進については、多くの区民の方々が集まる区のイベントや町会・自治会の祭り等の機会を捉え、町会・自治会の方々と共に積極的な周知活動を行うなど加入率向上に向けた取組の充実・強化を図ります。</p> <p>○地域区民センター協議会の協働事業については、事例集の更新版の作成により他の協議会の取り組みを参考とした協働の取り組みの充実を図るとともに、区が持っている地縁団体やNPO団体などの情報を提供・活用していただくことで、地域区民センター協議会がネットワーク化による課題解決に向けた取り組みの支援を行います。</p>		

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 61

24年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		すぎなみNPO支援センター運營業務委託	1	件	15,405
		地域活動応援サイト(地域コム)運営支援	1	件	1,181
		NPO活動資金助成事業	11	団体	2,469
		ボランティア活動支援事業補助	1	件	2,875
		その他(委員報酬・維持管理・事務費ほか)			12,150
	(2) 事業実績(協働、行革の取組みがあれば記入)	<p>すぎなみNPO支援センターにおいて地域活動サイトの利用者の集いに加え、課題解決型の「ミニ交流会」と知識の補充機会となる「NPOなんでも勉強会」を新たに実施し、地域活動実践者の交流を促進するとともに、研修室の夜間利用も可能とすることにより活動拠点の拡充を図りました。</p> <p>NPO支援基金を活用した活動資金助成内容についてパネル展示を区役所やNPOフェスタで行い、NPO活動の紹介を行うとともにNPO支援基金の普及啓発に努めました。</p>			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業内容
	<p>平成14年4月「杉並区NPO・ボランティア活動及び協働の推進に関する条例」を施行し、「杉並区NPO支援基金」を創設、「杉並区NPO等活動推進協議会」を設置しました。平成18年に「すぎなみNPO支援センター」と「杉並ボランティア・地域福祉推進センター」を設置し、平成23年4月に「すぎなみ地域活動ネット」を「すぎなみ地域コム」として再構築しました。平成25年1月に「杉並区における今後の協働の取組方針」を策定しました。</p> <p>区内NPO法人数 平成14年度末 103 → 平成24年度末 325</p>	<p>NPO法人等地域活動団体から、活動・事業の拠点の確保、区の広報への情報掲載、補助金・助成金の確保等への要望があります。「杉並区内におけるNPO等の活動に関する調査報告書」(平成24年12月)では、NPO等の団体が、区からの事業委託に限らない多様で幅広い分野・方法での区との関係強化を望んでいることが明らかとなりました。</p>
	今後の予測	<p>地域の多様な課題を解決するために、町会・自治会、商店街、NPO法人、企業など様々な地域活動団体が、個々のケースに応じて協働を行い、より一層協働と参加による地域社会づくりが推進されるよう、区の支援や調整力の強化を求められることが予想されます。</p>
	評価と課題	<p>協働推進基本方針に基づき、「新たな協働のあり方」について杉並区行政経営懇談会や杉並区NPO等活動推進協議会などの意見を踏まえ検討し、25年1月に「杉並区における今後の協働の取組方針」を定めました。この取組方針が示す協働の新たな展開に向けて、協働提案制度の試行による評価・検証、NPO支援基金の理解促進などのほか、中間支援機能と地域人材育成の充実強化について、さらに具体的な検討に取り組みます。</p>

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	○ 拡 充	● 現状維持	○ 縮 小	○ その他
		II 事業の方向性	● 手段・方法の見直し	● 実施主体の見直し	○ 対象の見直し	
	<p>平成25年1月に策定した「杉並区における今後の協働の取組方針」に基づき、「参加と協働による地域社会づくり」を目指して、以下の取組みを重点的にを行います。</p> <p>①全庁的な取組を推進するため、「すぎなみ協働推進ガイドライン」を改定し、全職員向けに「協働」の研修を行い職員の意識向上を図っていきます。</p> <p>②協働を進める一つの手法として、「協働提案制度」を試行実施し、制度の評価・検証を行った上で、平成26年度以降本格実施を行います。</p> <p>③すぎなみNPO支援センターの組織体制の再構築を行い、杉並ボランティア・地域福祉推進センターや区民生活部副参事(地域区民センター協議会事務局長)など中間支援機能を担う組織間の連携・協力を進めます。</p> <p>④NPO支援基金について、助成対象の拡大、寄附者や区民の理解を深めるための助成事業内容の透明性の確保など、役割・仕組みの見直しを行い、基金に対する理解促進と寄付文化の醸成を図っていきます。</p>					

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		地域人材の育成		款	3	項	1	目	1	事業	10	整理番号	62		
担当部課名		区民生活部協働推進課		係名	地域人材育成係		連絡先電話番号	3312-2381		昨年度整理番号	63				
上位施策No・施策名		32 地域住民活動の支援と地域人材の育成		予算事業区分		既定事業									
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	18	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実行計画事業目標	5	施策	32	計画事業	4	<input type="checkbox"/>	主要事業(経営計画書掲載事業)	
	対象	区内在住、在勤、在学者(地域活動に関心・意欲のある区民)		内部管理		根拠法令等		(1) すぎなみ地域大学運営要綱							
					施設維持管理		(2)								
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標名(式)												
○講座受講者が様々な分野において、地域活動に参加し、新たな公共サービスの担い手として、積極的に活動する人材を育てていきます。		(1) 実施講座数													
		(2) 受講者数													
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標											
○地域活動に必要な知識や技術を付与し、区との協働事業の担い手等につなげることを目的とした講座を開催する。		成果指標名(1)		地域活動参加者数											
		算定式・指標の説明等		修了基準を定めていない講座を除く											
		成果指標名(2)		地域活動参加率											
		算定式・指標の説明等		講座修了者のうち地域活動参加者÷講座修了者											
区分		単位	22年度	23年度		24年度		25年度	計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画							
指標	活動指標(1)	1	本	35	35	32	35	40	35	114.3					
	活動指標(2)	2	人	973	1,000	1,013	1,000	1,263	1,000	126.3					
	成果指標(1)	3	人	555	600	531	560	418	500	74.6					
	成果指標(2)	4	%	85.9	—	92.0	90.0	85.6	90.0	95.1					
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	16,699	27,070	14,000	24,453	14,734	21,636	24年度予算執行率(%)	60.3				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7	千円	10,867	17,271	8,271	15,585	8,962	14,383						
	職員数	常勤職員数	8	人	2.15	2.00	2.24	3.00	3.31	3.00	(予算執行率について) 24年度の実施講座数は計画(目標値)を上回ったが、一講座当たりの回数が少ない講座が多かったため、講座運営委託料等に執行残が生じた。				
		再任用職員数	9	人	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10	人				1.00	1.03	1.00					
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	19,178	17,800	19,936	26,100	28,797	26,100	(活動指標について) 活動指標(2)を変更した。 変更後:受講者数 変更前:受講者数(修了基準を定めていない講座を除く)				
		(内)再任用職員分	12	千円	2,950	3,080	3,080	0	0	0					
		(内)非常勤職員分	13	千円				2,750	2,833	2,750					
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	38,827	47,950	37,016	53,303	46,364	50,486					
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15	円	1,109,343	1,370,000	1,156,750	1,522,943	1,159,100	1,442,457					
	財源	受益者負担分	16	千円	923	505	717	860	756	840					
		国からの補助金等	17	千円	1,071	0	496	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	3,224	2,063	2,197	2,048	1,846	2,529					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	5,218	2,568	3,410	2,908	2,602	3,369						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	33,609	45,382	33,606	50,395	43,762	47,117						
受益者負担比率(16÷14)		22	%	2.4	1.1	1.9	1.6	1.6	1.7						

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 62

24年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		すぎなみ地域大学の講座企画、受講者募集、講座運営	40	講座	14,734
		その他()	0		

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	杉並区区民意向調査による社会参加活動状況「社会貢献・社会参加活動」の推移 第37回(平成17年度) 6.3%、第38回(平成18年度) 4.3%、第39回(平成19年度) 5.2%、第40回(平成20年度) 5.9%、第41回(平成21年度) 4.3%、第42回(平成22年度) 5.2%、第43回(平成23年度) 4.9%、第44回(平成24年度)4.8%
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	毎年、多数の受講申し込みや問い合わせがあり、区民等の地域活動への参加意欲が伺えます。受講者からは、地域活動のためのコミュニケーション講座や専門知識を習得するための講座、資格取得や就職に結びつくような講座の開講を望む声が寄せられています。
	今後の予測	震災復興のボランティア活動に多くの市民が参加しているように、社会貢献や地域貢献に対する関心や、活動に参加しようとする潜在的な意識は高いものと考えられます。 地域活動や社会貢献活動への参加意識を行動に移すための手段の一つとして、すぎなみ地域大学事業への期待と役割は増していくものと予測されます。
	評価と課題	地域活動に直接結びつく講座のほか、新たな人材の発掘と地域活動への参加の動機付けを目的とした講座、活動の幅を広げていただくための講座、地域活動団体の運営力を高めていただくための講座等を開講し、受講者からは満足度83.7%の評価をいただきました。 今後は、協働提案制度に関連した講座や交流の機会となるプログラム、若い世代にとっても魅力的な講演会の実施など、講座内容のさらなる充実を図る必要があります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	○ 拡 充	● 現状維持	○ 縮 小	○ その他
		II 事業の方向性	● 手段・方法の見直し	● 実施主体の見直し	○ 対象の見直し	
<p>すぎなみ地域大学は、地域社会に貢献する人材を送り出すとともに、修了者による団体の設立など、協働の担い手づくりにおいて一定の成果を上げてきました。</p> <p>平成25年1月に策定された「杉並区における今後の協働の取組方針」に基づき、杉並区協働推進本部が「これからの地域人材の育成方策やすぎなみ地域大学の役割・運営のあり方について」を検討中です。平成25年度中に検討結果がまとまる予定ですので、その検討結果に則した改善を行います。</p>						

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		地域集会施設等維持管理		款	3	項	1	目	3	事業	4	整理番号	73		
担当部課名		区民生活部地域課		係名	地域施設係		連絡先電話番号		3769		昨年度整理番号	75			
上位施策No・施策名		32 地域住民活動の支援と地域人材の育成		予算事業区分		既定事業									
事務事業の概要	事業開始		昭和	▼	54	年度	<input type="checkbox"/> 実行計画事業目標		施策	<input type="checkbox"/> 計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)			
	対象		施設利用者及び利用団体		内部管理		施設維持管理		根拠法令等		(1) 地方自治法第225条、第244条、第244条の2 (2) 杉並区立地域区民センター及び集会所条例、同施行規則				
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○地域住民の活動の拠点である区民センター、区民集会所、区民会館及び区民事務所会議室において、区民相互の交流や自主的な活動が行われるよう、適切な施設の維持管理、運営を行います。		活動指標名(式)		(1) 有料利用者数 (2) 施設利用回数								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○地域区民センター、区民集会所、区民会館及び区民事務所会議室を良好な状態で利用者に供するための維持管理業務 ○各施設内の集会室、和室、ホール及び会議室等の、区民や区民団体等を対象とした貸出業務		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標		成果指標名(1)		施設利用率				
				算定式・指標の説明等		利用回数÷利用可能回数		成果指標名(2)		算定式・指標の説明等					
区分		単位	22年度		23年度		24年度		25年度	計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画							
指標	活動指標(1)		1	人	1,139,823	1,055,222	1,101,200	1,424,348	1,449,805	1,478,800	101.8				
	活動指標(2)		2	回	157,311		146,818		206,626						
	成果指標(1)		3	%	67.5		72.3		66.8						
	成果指標(2)		4												
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	777,843	775,709	731,230	886,965	867,308	954,258	24年度予算執行率(%)		97.8		
	(内)投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 平成24年度より「区民事務所会議室維持管理」の事務事業と本事業を統合しました。これに伴い、活動指標(2)の施設利用回数が増となっています。				
	(内)委託費		7	千円	527,200	533,198	515,134	643,083	632,838	709,765					
	職員数	常勤職員数		8	人	9.18	9.18	9.64	11.80	12.48					11.90
		再任用職員数		9	人	23.00	20.00	21.00	15.00	15.04	1.00				
		非常勤職員数		10	人				7.00	7.00	5.00				
	人件費	(内)常勤職員分		11	千円	81,886	81,702	85,796	102,660	108,576	103,530				
		(内)再任用職員分		12	千円	67,850	61,600	64,680	58,950	59,107	3,930				
		(内)非常勤職員分		13	千円				19,250	19,250	13,750				
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	927,579	919,011	881,706	1,067,825	1,054,241	1,075,468					
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15	円	814	871	801	750	727	727					
	財源	受益者負担分		16	千円	136,816	126,297	128,186	142,950	141,661	142,662				
国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0	0						
都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	28,633	2,303	2,932									
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	165,449	128,600	131,118	142,950	141,661	142,662						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	762,130	790,411	750,588	924,875	912,580	932,806						
受益者負担比率(16÷14)		22	%	14.7	13.7	14.5	13.4	13.4	13.3						

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 73

24年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		地域区民センター施設維持運營業務委託	7	館	287,812
		区民集会所施設維持運營業務委託	10	所	182,388
		区民会館施設維持管理業務委託	4	館	41,436
		光熱水費	39	所	107,180
		その他(施設修繕・消耗品購入 ほか)	248,492		
	(2) 事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	<p>39施設の集会室、ホール、音楽室、体育室、会議室等の利用貸出を行いました。施設全体の利用率は約7割となっていますが、ピアノ室や体育室においては9割を超えています。施設の老朽化に伴い、小規模修繕も多くなっていますが、危険な個所の修繕は営繕課とも連携して対応しています。</p> <p>区民事務所会議室については、巡回パトロールを実施し管理の強化を図っています。</p>			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>地域区民センター及び区民集会所については、平成14、15年度にかけて運営協議会による運営から民間事業者への業務委託に変更しました。平成19年度には契約方式の見直しを行い、建物総合管理委託について長期継続契約を導入しました。高井戸地域区民センターは、平成24年5月から指定管理者による運営を開始しています。</p> <p>区民事務所会議室は、廃止した出張所を目的外利用の会議室として貸出を行っています。</p>
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>受託業者職員の接客対応向上、施設整備(防音設備・喫煙場所)、備品の買い替えなどの要望のほか利用者のマナーに対して近隣住民から苦情が寄せられています。</p> <p>トレーニング室を廃止し軽運動室に転用したことに関して、廃止の経緯や転用後の軽運動室の内容についての質問をいただいています。</p> <p>区民事務所会議室について、近隣住民から利用マナーに対する苦情や管理者の常駐を望む声が寄せられています。</p>
	今後の予測	<p>施設や設備が年数とともに老朽化してきており、大規模な改修の必要性が増すものと考えられます。</p> <p>区民会館については、建物総合管理委託での維持・運営を行う予定です。</p>
評価と課題		<p>施設の維持管理については、法律等に基づく定期的な点検はもとより、安全・安心を第一に対応してきました。</p> <p>受託事業者には、定期的な連絡会やモニタリングを実施し施設の安全管理の徹底や利用者の満足度向上を図るとともに、委託業務が適正な労働環境のもとで確実に履行されるよう社会保険労務士による労働環境モニタリングも実施しています。</p> <p>貸出施設として利用者が快適に利用できるよう、老朽化した施設の大規模改修を計画的に行うことが課題となっています。</p>

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	● 拡 充	○ 現状維持	○ 縮 小	○ その他
	II 事業の方向性	● 手段・方法の見直し	○ 実施主体の見直し	● 対象の見直し		
	<p>○地域集会所施設について、施設運営の効率化や区民の利便性の向上等の観点から、(仮称)区立施設再編整備計画の検討・推進の中で、施設の配置・運営のあり方を見直しを進めます。</p> <p>○利用者の声や部屋の利用状況、利用率を踏まえ、貸出時間帯の見直しや部屋の転用などの有効活用策について、平成26年度のさざんかねっとシステム更改のタイミングにあわせた検討を行います。</p> <p>区民会館の運営については、区民サービスの向上や費用対効果の観点から民間委託を進めていくため委託経費は増加となります。</p>					

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 75

24年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		改修工事及び工事監理	1	所	499,284
		仮設建物の賃借	1	所	5,571
		備品等の購入	1	所	6,335
		その他(落成式の開催)			210
(2)事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	改修工事は約1年の工期を経て平成24年4月27日に竣工し、5月2日に落成式を行い、5月7日よりニューアルオープンしました。 開設後の管理・運営は、指定管理者制度を導入し、各施設の貸出業務や指定管理者による自主事業の開催など、地域住民だけではなく多くの区民に親しまれている施設となっています。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	杉並清掃工場の建設に伴い、昭和58年4月1日に地域の利便施設として開設され、コミュニティの推進、福祉・健康の向上のため地域の方に利用されています。 開設から30年近く経過したため、建物や設備の更新と耐震性の向上のため、平成23年3月から改修工事を行いました。 平成24年4月27日に竣工し、5月7日から新しい施設で指定管理者による一体的な管理・運営を開始しています。
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	地域代表、利用者代表及び区職員で構成する改修連絡会で意見をいただき、設計や開館後の運営に反映するよう努めました。 また、改修基本設計説明会や工事期間中の代替施設となる仮設建物の工事説明会、改修工事説明会等を時期を捉えて開催し、工事内容の説明をするとともに、ご意見やご質問に対応し地域住民や利用者の理解に努めました。
	今後の予測	平成24年4月に改修工事が竣工したため、本事業は平成24年度をもって終了となります。
評価と課題	施設の改修にあたっては、地域の代表者や利用者代表者との改修連絡会でいただいた意見を可能な限り反映し、総合受付の設置や集会室等の配置の見直しを行うなど、利用者にとって安全で使いやすい施設になりました。 指定管理者による管理・運営にあたり、特に自主事業において、地域の方々が参加したいと思う事業の展開・充実を図るよう働きかけます。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input checked="" type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し <input checked="" type="radio"/> 実施主体の見直し <input checked="" type="radio"/> 対象の見直し
平成24年4月に改修工事が竣工したため、本事業は平成24年度をもって終了となります。			

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 231

24年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		改修工事	1	所	197,927
		工事監理委託	1	件	3,825
		引っ越し費用	1	件	2,278
		その他(不用品処分経費等)			250
	(2)事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	平成23年3月から始まった高齢者活動支援センターの改修工事も平成24年4月27日に竣工し、5月7日に開館しました。リニューアルオープン時からは、受付業務を総合受付に1本化し、地域区民センターとプールもすべて合わせて、指定管理者による運営にし、効率化を図りました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	高齢者活動支援センター(旧老人福祉センター)は、昭和58年4月1日に地域区民センターとともに開館しました。竣工から26年が経過し、配管設備などの老朽化や建物の耐震基準を下回るなどの改修が必要な状態になりました。また、開館当時に設置していた宿泊施設が廃止され、高齢者需要が高い治療器コーナーの設置が必要になるなど、スペースの有効利用を図った施設の改修を行い、カフェやロビーの共有化も行いました。			
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	平成24年度の大規模改修後に寄せられている意見等は特にありません。			
	今後の予測	平成24年度をもって改修が終了したため、今後はハード面の整備ではなく、ソフト面であるサービスの充実を図ります。			
	評価と課題	平成24年4月に改修工事を完了し、5月に開館しました。今までの課題であった浴室の改修やトイレの改修、囲碁・将棋ができるスペース(くつろぎの部屋)を設置しました。建て替えを機に受付業務を1本化し指定管理者による運営に移行しました。ロビーを共有化し、多世代の交流の場として設置し、カフェの開設など、誰でも利用しやすい施設となりました。			

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input checked="" type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	
	平成24年度をもって高齢者活動支援センターの改修が終了したため、事業予算(事務事業)は平成25年度からなくなっています。					

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名 保育施設の改修①			款	4	項	2	目	3	事業	12	整理番号	294	
担当部課名 保健福祉部保育課			係名	管理係			連絡先電話番号	1373		昨年度整理番号	298		
上位施策No・施策名 32 地域住民活動の支援と地域人材の育成								予算事業区分		投資事業			
事務事業の概要	事業開始 平成 21 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実行計画事業目標		5	施策	32	計画事業	2	<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)			
	対象 改修:地域住民、施設利用者		内部管理		根拠法令等 (1) 杉並区立地域区民センター及び区民集会所条例 (2)								
			施設維持管理										
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)					活動指標名(式)							
○平成23年度から始まる杉並清掃工場の建替工事に備え仮設熱源を設置するとともに、改修により老朽化した設備の更新、耐震補強工事、諸室の配置や機能の見直しなどを行うことにより、利用者にとって安全で使いやすい施設にします。					(1) (2)								
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)					成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標								
○建替工事に伴い、ひととき保育高井戸の改修を行う。 ○平成21年度に耐震診断及び基本設計を行う。 ○平成22年度に実施設計及び改修中の代替施設の確保を行う。 ○平成23～24年度上半期に改修工事を行う。 ○設計から完成まで、地域住民及び利用者との意見交換に努める。					成果指標名(1) 改修工事進捗率 算定式・指標の説明等 設計、工事、周辺整備を含む 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等								
区分		単位	22年度	23年度		24年度		25年度	計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)				
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画					
指標	活動指標(1)		1										
	活動指標(2)		2										
	成果指標(1)		3	%	60	90	90	100	100		100.0		
	成果指標(2)		4										
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	19,206	48,018	44,513	31,506	31,505	0	24年度予算執行率(%) 100.0		
	(内)投資的経費等		6	千円	19,206	48,018	44,513	31,506	31,505	0	特記事項		
	(内)委託費		7	千円	18,328	25,880	22,772	29,750	29,749	0			
	職員数	常勤職員数		8	人	0.20	1.00	0.20	0.20	0.20	0.00		
		再任用職員数		9	人	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00		
		非常勤職員数		10	人				0.00	0.00	0.00		
	人件費	(内)常勤職員分		11	千円	1,784	8,900	1,780	1,740	1,740	0		
		(内)再任用職員分		12	千円	0	616	0	0	0	0		
		(内)非常勤職員分		13	千円				0	0	0		
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	20,990	57,534	46,293	33,246	33,245	0			
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15	円									
	財源	受益者負担分		16	千円	0	0	0	0	0			
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0			
		都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0			
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0					
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源(14-20)		21	千円	20,990	57,534	46,293	33,246	33,245	0				
受益者負担比率(16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 294

24年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		仮設建物の賃借	1	所	1,755
		改修工事	1	所	28,989
		工事監理 建物管理	1	所	561
		備品搬出	1	所	200
		その他()			0
(2)事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	新施設は平成24年4月28日に竣工し、「ひととき保育高井戸」も平成24年5月7日より新施設において運営を開始しています。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	改修対象の建物は平成58年4月1日に開設され、それ以来、建物内の各施設は地域の多くの住民にとって、コミュニティ推進、福祉・健康の向上に無くてはならないものとなっています。
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	地域代表、利用者代表及び区職員で構成する改修連絡会で意見交換を行うとともに、平成22年4月には改修基本設計説明会を実施し、地域代表等から出された意見要望を検討のうえ、実施設計に反映させるよう努力しました。 平成22年9月には工事期間中の代替施設となる仮設建物の工事説明会、平成23年3月には改修工事説明会を行い、工事の内容について説明するとともに、ご質問等にお答えし、近隣住民及び利用者の理解に努めました。
	今後の予測	平成24年度に本施設竣工のため、本事業は終了となります。
評価と課題		改修工事等は計画通りに進行し、平成24年度竣工しました。

改善・見直しの方向 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input checked="" type="radio"/> その他
	II 事業の方向性	<input type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	
改善・見直しの方向 (中長期)	平成24年度で本施設の改修工事は終了しました。				

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 538

24年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		建築工事	1	所	122,821
		電気設備工事	1	所	44,367
		機械設備工事	1	所	115,709
		工事監理	1	所	5,464
		その他(引越作業、不用品処分他)			
(2) 事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	平成24年4月27日に改修工事を竣工し、平成23年度に公募型プロポーザル方式により選定した高井戸地域区民センター・高齢者活動支援センター・高井戸温水プールの3施設一体の運営を行うこととなった指定管理者により平成24年5月7日から利用を再開しました。 改築によりサブプール・ジャグジーを新設し、平成24年度は118,750人の利用がありました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和58年4月に開設した高井戸温水プールですが、杉並清掃工場の建替工事による仮設熱源を設置するとともに、耐震補強工事などの改修のため、平成23年度は休場、平成24年4月に改修工事を終え、平成24年5月7日から開場しました。
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	改修後の温水プールについて、大勢で利用する場合の動線、更衣室のレイアウト、ジャグジーの規格等について意見・要望がありました。また、利用再開後に複数個所にて不具合が発生しているとの苦情・要望があったため、営繕課と相談の上、修繕などの対応をしています。 また年2回、施設全体で開催する地域懇談会で、プール利用者だけでなく意見も聴取しています。
	今後の予測	平成24年度に改修工事は竣工したことで事業は廃止となり、平成25年度以降、高井戸温水プールは体育施設の維持管理事業のみとなります。
評価と課題		高井戸地域区民センター・高齢者活動支援センター・高井戸温水プールの3施設一体の施設ならではの利便が図られるとともに、温水プールとしての安全性・利便性が図られるような管理運営に取り組んでいく必要があります。

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	○ 拡 充	○ 現状維持	○ 縮 小	● その他
	II 事業の方向性	○ 手段・方法の見直し	○ 実施主体の見直し	○ 対象の見直し		
平成24年度に改修工事は竣工したことで本事業は廃止となり、平成25年度以降、高井戸温水プールは運営経費の体育施設の維持管理事業のみとなります。						